例 会

お客様ご挨拶

国際ロータリー第 3462 地区 南投ロータリークラブ 会 長 **黄 臺 億様** (Motel) 大宮



非常感謝大宮兩 ROTARY CIUB 聽稿剛史社長以及各位社友、 今天要原領大家無顧了、理請大家多多指数。前段技輸社學 2023 年準行我們前分。60 週年起金大典。作為一個服務社會 的社想、我們一邊行動一邊平別。被習言會有更知有益執的作為。雖然加重大宮園 RO 的各位並公於此影性社總。但還是限 社女學派並第訂我們妹妹社總盟權式。 美大宮商 RC 自 1970 年-1971 年度輔結婚练社以來。社次問已經建立了長達 54 年 的漢學信息。這從經母信意達未因為eovid 19 投海而受影響。 並在兩國有地震災情時不同關門條故此的安全並熟私佛出版 立在兩國有地震災情時不同關門條故此的安全並熟私佛出版 亦想要被此第仁、這個女庭是最被教們彼此感動物地方,其心 的希望未來也可以繼續加深相互的情能並是長久失。明年度為 自我兩社第55 55 年結結。還濟女排封創致驗消散、希望大家能 權穷來參加,兩段技驗社之務首係。更後及失,明年度為 在初國大百日 RO 快帳社社務目標。更得以屬金轉會轉數據、属



大宮西ロータリークラブ藤嶋剛史会長をはじめ会員 の皆様、本日はお世話になり誠にありがとうござい ます。

南投ロータリークラブは 2023 年に創立 60 周年を記 念する式典を開催しました。社会に奉仕する団体と して、私たちは行動しながら学び、より有意義な活 動を行うことを誓います。大宮西ロータリークラブ の皆様はご多用のところ、創立 60 周年記念式典に 会員をお送りいただき、参加してくださいました。 1970年~71年に大宮西ロータリークラブと姉妹クラ ブ提携して以来、54 年間にわたりクラブ会員同士は 深い友情を築いてきました。それは新型コロナウイ ルス感染症の流行の影響を受けることはありませ ん。両国が地震に見舞われたときも、お互いの無事 を祈り続け、無私の気持ちで救いの手を差し伸べま した。この気持ちに私たちはとても感動いたしまし た。今後もこの友情がさらに深まり、末永く続くこ とを願っております。来年は提携 55 周年を迎えま すので、ぜひお時間をご調整の上、いらしていただ けますよう、よろしくお願いいたします。南投ロー タリークラブの会員一同、皆様のご来訪を心よりお 待ちしております。最後に、大宮西ロータリークラ ブのますますのご発展と、皆様のご健康とご多幸を 心よりお祈り申し上げます。



お客様紹介

幹事 **横溝 一樹**



プレゼント交換



台湾地震支援金をお渡ししました

誕生日祝い

齊藤 照夫 (1日)、永井 博 (8日)、佐藤 真義 (17日)、井上 勝美 (18日)、 鈴木 恭二 (22日)、荒井 伸夫 (26日)、川鍋 洋子 (30日) 各会員



代表挨拶 **荒井 伸夫会員** 77歳になります。日本 の風習で「喜寿」です。 次の祝いは80歳の 「傘寿」です。

ロータリーの友 解説

広報委員会 委員 福村 典子

4月は、環境月間ということで、7ページから13ページまで、ライチョウ、オミナエシ、 カブトガニ、ウルシなど、各地のロータリアンによる、保護活動の記事が掲載されています。 次のページには、能登半島地震に対する支援の記事。下館ロータリー新井さんは、震災直後、同期のガバナーである 七尾ロータリーの神野さんに連絡を取りました。

神野さんのいる総合病院では、被災者である職員たちも心をひとつにして、『災害でも医療を止めない』という信念のもと、緊急手術や分娩などを行い続けました。

61 ページ、国際ロータリーの【奉仕プロジェクトセミナー講演】の記事。「現地で雇用を生み出せば、密猟も伐採もなくなる」と考えたエクベリ・聡子さんは、ポケットマネーで小さなパソコン教室を開き、ふとしたことからバナナの繊維から紙ができることを耳にします。そして日本でバナナペーパーを取り扱っていた印刷会社を探し出し、オーガニックでバナナを栽培するザンビアの農家と提携することができました。やがて、聡子さんの実績は、世界中にひろがり、イギリスのコスメブランドは、日本の店舗で使用する包装紙やショッパーなどにバナナペーパーを採用してくれました。また、日本のでは、バナナペーパーを使った卒業証書も各地で実現しているそうです。聡子さんが行ってきた事業は、すべて SDGs に繋がっています。日本は SDGs への認知度は高いのですが、取り組み達成度は世界ランクで 21 位で、意識と行動はかなり低いのが現状です。

さて、2030 年には、5G から6G へと世の中が進化します。情報が伝達されるスピードが早くなるだけではなく、自動車は自動運転になり、ドローンがその日のうちに荷物を届けてくれるようになるでしょう。すさまじい勢いで成長する世の中と並行して、私たちは暮らしやすい環境と安全な生活を守らなければなりません。国、自治体、企業、個人がそれぞれの立場から取り組んでいく必要があると思います。

米山記念奨学金支給及び近況報告

2024 学年度米山記念奨学生 金 亮希さんへ 会長 藤嶋 剛史より支給

金 亮希さん 近況報告 先月、就活も終わりました。 先週は軽井沢に旅行に行ってサイクリン グなどしました。いろいろなところに行ってみたいです。

